



#### 4 本時の展開 (6 / 14 時間)

##### (1) 本時の目標

友達の作品の良いところを見つけながら、パッケージには何が必要か考える。

##### (2) 観点別評価規準

どうすれば、商品の魅力が伝わるパッケージになるのかデザインを考えている。【思・判・表】

##### (3) 学習の展開

学習活動	指導上の留意点 (○) 予想される児童の反応 (・)	評価規準 (評価方法) 配慮を要する児童への支援 (◆)
1 本時のめあてを知る。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">パッケージをもっとよいものにするためにはどうすればよいか考えよう。</div> <div style="border: 3px double black; padding: 5px;">どうすればよりよいパッケージになるか根拠をもとに考えよう。</div>	
2 テーマの確認と学習したことを思い出す。	○社会科や総合的な学習の時間で学習したことを振りかえらせ、パッケージにはどのようなもののかくのがふさわしいか確認する。 ・テーマは「生口島、高根島、瀬戸田、レモン」 ・スーパーの商品には作っている人の写真やコメントがあった。	◆改善案のイメージがわきにくい児童のために今まで学習したことの資料を提示する。
3 それぞれのデザインの良いところを見つける。	○考えたデザイン案を自由に見て回らせる。友達の良いと思ったところを付箋に書いて、貼ってもらう。  ○貼り終わった後、ペアで付箋に書いてある意見を仲間分けさる。	・自分の考えや工夫が伝わるように、そう思った理由を挙げて文章を書いたり、発表したりしている。 【思・判・表】(発表資料・発表)  ◆仲間分けが難しい児童のために「絵」や「言葉・文章」、「地図」など大まかな分け方を提示しておく。
4 グループ分けを発表する。	○どんな意見を何というグループでまとめたか明らかにさせる。 ○個人に仲間分けをした意見を発表させる。 ・絵が上手です。 ・キャッチコピーがよく考えられている。 ・島の説明があるのもいいね。 ・作った人も紹介しているね。	
5 まとめる。	○良いと思った意見をまとめる。	
6 学習を振り返る。	○本時の学習を振り返り、できるようになったことやどんなやり方で課題解決をしたか、今後どのような学習をするかなどを書かせ、学びを深める。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">絵やキャッチコピーなどとても上手に考えていた。作った人の写真やコメントも必要になるので次から調べていこう。</div>

#### 5 本単元を通して行う言語活動

本単元は、どうすれば瀬戸田の魅力が伝わるパッケージが作れるかという課題を設定し、自分の考えや思いを相手に伝える活動ができるようにする。第一次では、中学校からの依頼を受け、パッケージ作りの計画を立てる。第二次では、具体的にパッケージを作るために地域の人の声を聞き、どのようなパッケージを作っていくか話し合わせる。第三次で、パッケージのデザインを考え、第四次では、できた作品を友達に紹介し、振りかえり活動を行う。

これらの活動を通して、身近なものから課題を見出し、必要な情報を整理・分析したり、伝えたいことを分かりやすく表現したりする力を育てることができると考える。